



庄原の食と体験を満喫

道の駅たかの 雪どけまつり・4/15～16

No.5

道の駅たかの4周年を記念して「雪どけまつり」が開催され、市内外から家族連れなど2日間で約1万8千人が来場しました。

駅舎周辺に並んだテント屋台では、出荷者による庄原産にこだわった特産品の実演販売や、しいたけの植菌、バターづくりなどのワークショップが開催されました。15日にはスポーツ雪合戦体験、16日には水陸両用車乗車体験などのイベントも行われ、各会場は終日にぎわいを見せました。

市外の来場者からは「生産者の顔が見えるので安心して買い物ができる。庄原は魅力的な食と体験が充実している」と声が聞こえてきました。



▲多くの来場者でにぎわう会場

地域で伝統祭事を再現

くちわ旧暦ひなまつり・3/26～4/2

No.7

〇和自治振興センターで「くちわ旧暦ひなまつり」が開催され、期間中延べ400人が参加しました。〇和地域では明治以降、新暦の3月3日にひなまつりを祝う風習が定着しましたが、それまでは桃の咲く旧暦(4月3日ごろ)に行っていました。

このまつりは、〇和地域の住民が昔から所有している七段飾りや三次人形、保育所園児による作品などを展示して、伝統の旧暦ひなまつりを再現します。また、ひな人形の他にも短歌、俳句、写真コンテストなどの作品が展示されました。最終日には、着物の着付け体験や工作のコーナーだけでなく、本の読み聞かせなどのイベントも催され、たくさんの参加者でにぎわいました。



▲工作コーナーでは子どもたちが折り紙でひな飾りを作った

決意を新たに住民の安全を守る

比和方面隊出初式・3/26

No.4

新年度を前に、消防団員の士気高揚を図るとともに、消防活動に対する認識と信頼を深め、防火思想の関心を高めるため、比和方面隊出初式が行われました。

この日は、時折強い風の吹く寒い日でしたが、新たに4人が入団し、富永隆司方面隊長以下約60人の団員が参加。式典、観閲の後、分列行進が行われました。また、これまで地域の安全を守ってきた6人が退団し、現役団員に思いを託しました。

団員は「昨年の熊本県や鳥取県での地震など、全国的に災害が続いている。住民の皆さんの期待に応えられるよう技術向上に努めたい」と決意を新たにしていました。



▲厳格に分列行進が行われた

たたら製鉄を知ろう!

中国山地のたたら製鉄資料展・4/8～5/14

No.6

中国山地では昔からたたら製鉄が盛んで、庄原市内でも各地に製鉄関係の遺構が残されています。特に、「東城・西城くろがねどころ」とうたわれるように、比婆山連峰を中心とした旧比婆郡では、あちこちでたたら製鉄が行われていました。

そのような、たたら製鉄について知ることができる「中国山地のたたら製鉄資料展」が、備北丘陵公園で行われています。これは、西城収蔵学習室に保管されている製鉄関係の用具などを展示しているもので、実際に製鉄に使われた道具や、解説パネルなどでたたら製鉄について詳しく学ぶことができます。

この展示は5月14日まで、備北丘陵公園内の「さとやま展示館」で開催中です。



▲中国山地のたたら製鉄資料展の様子

茶道で和の心を学ぶ

お茶教室開催・3/10

No.1

6年前から毎月1回、総領自治振興センターでお茶教室が開催され、総領保育所年長組の園児が参加しています。この教室は、茶道を通して日本の文化に慣れ親しみ、礼儀作法を身につけることを目的に、裏千家の柳生菅子さんを講師に迎え行われています。

この日は、園児たちにとって卒園前の最後の教室で、講師の柳生さん宅に招待されました。園児たちは、1年間かけて習得したあいさつの仕方や歩き方、お茶の立て方・頂き方などのお手前を、見事に披露しました。

柳生さんは「1年間のお稽古で、立派な立ち振舞いができるようになった。今後も茶道の楽しさを忘れないでほしい」と話していました。



▲柳生さんに教わりながら1年間の成果を見事に披露した

やわた創生プロジェクト

ぼんぼこ山保育園開園式・入園式・4/15

No.3

東城町八幡にあるぼんぼこ山保育園で、開園式・入園式が行われました。ぼんぼこ山保育園は、本年3月で閉所となった市立八幡保育所に代わり、地元のNPO法人が八幡保育所の施設を借り受け開園した小規模認可保育園です。4月にぼんぼこ山保育園に入園した6人の児童は、小規模保育園の良さを生かした、児童一人一人にしっかり目の行き届いた保育を受けています。また、八幡地域の自然の中でのびのびと生活を送れるのもぼんぼこ山保育園の良いところです。

開園式・入園式に参加した児童は、これから始まるぼんぼこ山保育園での楽しい生活に期待いっぱい笑顔で輝かせていました。



▲地域で開園と入園を祝った

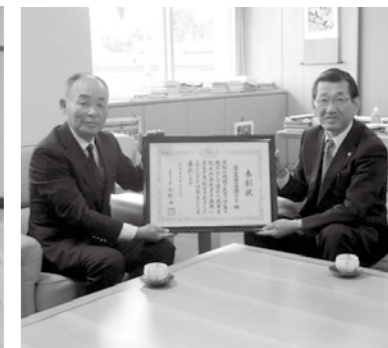
地域の活性化のために

優良公民館表彰・3/1

No.2

庄原市西城自治振興センターが優良公民館表彰を受け、西城自治振興区の増永勝義会長が文部科学省(東京都)で表彰状を受け取りました。事業内容や方法などに工夫をこらし、地域住民の学習活動に大きく貢献していることが認められ、文部科学大臣から表彰を受けました。

同自治振興センターでは、高齢化率が50%近くある地域の特性を踏まえ、高齢者のみで構成される200世帯を訪問、聞き取り調査を行い、そこで明らかになった地域や個人が抱える課題に対して、出前講座、野菜のインターネット販売などの活動を行うことで、高齢者の生活支援や生きがいづくりに効果をあげ、地域の活性化に大きく貢献したことが高く評価されました。



▲文部科学省の表彰会場 ▲木山耕三市長へ表彰の報告(3月16日)